

地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる

社会福祉法人エルム福祉会
広報誌「hikari Letter」Vol.1

hikari Letter

創刊号 (2022 年)

 hikari no café 本店

今の“エルム”は、
この場所から
始まりました。



私たち社会福祉法人エルム福祉会は、「キリスト教精神に則り、隣人愛をもって社会に参加する」との理念の下、栃木県北部地域に福祉施設を展開しています。



相談の受け付け

【障がい者相談支援センターエルム】

どこの施設の、どのサービスを利用するかを一緒に考えて利用する為の計画の作成を行い相談者の方がスムーズにサービスを利用できる様支援します。福祉サービスの入口となります。



障がいをもった児童の支援

【smile・joy's・なすの園】

障がいのあるお子様に対し、遊びや創作活動を通して、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。

(smile では、18 歳以上の障がい者も支援しています)



障がいをもった方の働く場

【エルムの園・SELP みなと・hikari no café】

一般の企業に勤める事が難しい障がいを持った方に対し、就労の機会及び生産活動（利用者様にとって「仕事」の事です）の機会を提供し、就労に必要な知識や能力の向上のために訓練等を行います。

異なる機能を持つ施設が連携し、スムーズなケアを目指す



学童保育

【放課後児童クラブ Valo・大田原児童クラブ・紫塚児童クラブ】

日中に保護者様のご家庭にいない小学生に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、お子様の健全な育成を図ります。



障がいのある方の住まい

【待降寮（たいこうりょう）】

障がいを持った方に対し、「地域の中で自分らしく生きる」という考えにたち、世話人等の援助を受けながら、生活を送る住まいの場です。



高齢者（介護保険）のサービス

【たじまの杜】

- 小規模多機能型居宅介護
訪問看護・ショートステイ・デイサービスの3つの機能を1か所で提供します。
- 認知症対応型共同生活介護
認知症の方のグループホーム



エルム福祉会の歴史

あゆみ

<今回のスポット>

エルム福祉会 沿革

令和4年5月現在

1984 (S59)	3月	財団法人エルム会設立 (社会福祉法人エルム福祉会の前身)
1984 (S59)	4月	小規模作業所「エルム共同作業所」開所
1989 (H01)	10月	「移動スーパーサンクス」開所
1991 (H3)	12月	地域生活ホーム「エルムスプリングス」開所
1997 (H9)	9月	社会福祉法人エルム福祉会設立
1998 (H10)	10月	「エルムの園」開所 定員 30 名
2000 (H12)	4月	「しいたけ菌床ハウス」建設、利用開始
2000 (H12)	10月	グループホーム「第 1 待降寮」開所 (女性定員 5 名)
2002 (H14)	10月	グループホーム「第 2 待降寮」開所 (男性定員 5 名)
2004 (H16)	4月	「SELP みなと」開所 定員 19 名 (現在 40 名)
2004 (H16)	10月	グループホーム「第 3 待降寮」開所 (女性定員 5 名)
2005 (H17)	10月	「hikarino café 本店」開所 ※オープン日は 12 月 1 日
2006 (H18)	10月	グループホーム「第 4 待降寮」開所 (女性定員 5 名)
2007 (H19)	10月	グループホーム「第 5 待降寮」開所 (男性定員 7 名)
2009 (H21)	4月	「smile」開所 (児童デイサービス、生活介護事業)
2010 (H22)	10月	グループホーム「第 6 待降寮」開所 (定員 6 名)
2012 (H24)	5月	「たじまの杜」開所
2014 (H26)	4月	グループホーム「第 7 待降寮」開所 (男性定員 5 名)
2016 (H28)	4月	「joy's」開所 (児童発達支援、放課後等デイサービス事業)
2016 (H28)	4月	「hikarino café 蜂巢小珈琲店」開所
2016 (H28)	11月	第 28 回 栃木県マロニエ建築賞 優良賞受賞
2017 (H29)	6月	グループホーム「第 8 待降寮」開所 (女性定員 7 名)
2018 (H30)	4月	「大田原市相談支援事業」受託
2018 (H30)	7月	グループホーム「第 9 待降寮」開所 (アパートタイプ女性定員 5 名)
2019 (H31)	4月	「放課後児童クラブ Valo」開所 学童保育 1 単位
2019 (H31)	4月	「hikarino café 大田原市庁舎店」開所 (A 定員 10 名)
2019 (H31)	4月	「なすの園」開所 (児童発達支援、放課後等デイサービス事業)
2020 (R2)	4月	「紫塚児童クラブ」運営開始 学童保育 2 単位
2020 (R2)	4月	「大田原児童クラブ」運営開始 学童保育 4 単位
2022 (R4)	4月	グループホーム「第 10 待降寮」開所 (男性定員 7 名、短期入所 2 名)

なぜ「作業所」ができたのか？

『エルム共同作業所』の成り立ち

当時、大田原市には障がい者が働く作業所は無く、家にひきこもる障がい者は少なくありませんでした。

「親亡き後をどうしたら良いか」、保護者にとっては切実な問題でした。教員で、那須地区の特殊教育の先駆者であった「楡井 一俊」はその現状を憂い、障がい者の居場所をつくり、障がい者に働く喜びを教え、自立した生活を送ってほしいという願いをもって、作業所の立ち上げを決意しました。

当時は今と違い、施設の立ち上げには大変な苦労がありました。大田原市では初めてということもあり、長い準備期間が必要でした。署名活動から始まり、市に何度も足を運びました。次第に多くの方の理解と協力を得られるようになり、楡井は 53 歳で教頭の職を辞し、その退職金を以って「財団法人エルム会」を立ち上げ、1984 年（昭和 59 年）に、小規模作業所「エルム共同作業所」を開所しました。開所時の利用者は 5 名でしたが、保護者をはじめ関係者の喜びは大変大きなものでした。

その頃の作業所は、「小規模作業所」や「無認可作業所」などとも呼ばれ、その財源が乏しく、職員は楡井を入れて 3 名。楡井の妻（幸子）はもっぱらボランティアで働きました。また、楡井の理念に賛同した方々（賛助会員等）の協力や寄付金も作業所の運営の大きな支えとなりました。

障がい者の小さな作業所は現在『hikari no café 本店』として生まれ変わり、今でも創設者の想いを受け継いでいます。

1984 年（S59 年）に建てられたエルム共同作業所（築 38 年）は、2005 年（H17 年）に hikari no café 本店になりました。



当時の『エルム共同作業所』

現在は『hikari no café 本店』として使われています。
（※表紙の建物です。）



次号では、

「作業所でのお仕事」

について、掲載いたします。

この人に **ズバリ** ! 聞いてみた!



障がい児（者）支援施設 **smile**
サービス管理責任者 **人見 さん**

障がい児（者）支援施設 **smile** のサービス

児童発達支援事業（0歳～6歳の未就学児）

障がいのあるお子様に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識の付与、集団生活への適応訓練を行います。

放課後等デイサービス（6歳～18歳の就学児）

学校に通学している障がいを持ったお子様に対して、放課後・長期休み期間中に、遊びや創作活動を通して、日常生活や集団生活のサポートを行います。

生活介護事業（18歳以上の障がいを持った方）

常時介護を必要とする障がい者を対象に、通所することにより主として昼間に入浴や排泄、食事などの介護、生活などに関する相談、および助言や創作・生産活動の機会を提供します。

Q5. そんな人見さんのストレス発散方法は？
人見 「最近は毎月届くクロスステッチをしています。一時期パンづくりにハマりましたが、作っても食べきれないので辞めました（笑）」

Q4. 仕事をする上で重要だと思う事は何ですか？
人見 「利用者様とのコミュニケーションの取り方に注意しています。言葉の掛け方・返事の仕方など、相手に合わせて接するように心がけています。あとはやっぱり「笑顔」ですね。朝出かける時に「笑顔持った？」と確認しています。（笑）出来なような事でも「とりあえずやってみる」といったちょっとした行動力も重要だと思っています。」

Q3. この仕事の面白さ・醍醐味は何でしょう？
人見 「利用者様と接していく中で、成長を感じる事が出来る事だと思います。保育園・幼稚園のように卒園がありませんので、たくさんさんの時間を共有できます。入職した時まだ3歳だった利用者様を高校生になるまで支援できた事は、家族の他には中々出来ない事です。」

Q2. この仕事に就いた経緯を教えてください。
人見 「私には、2つ下の弟が自閉症ということもあり、保育の短大に通い、福祉の道を志しました。その時に出会った素敵な先生にエルム福祉会をご紹介いただいた事がきっかけです。」

Q1. 現在のお仕事内容を教えてください。
人見 「障がい児（者）支援施設 smile にて、サービス管理責任者として勤務しています。利用者様一人ひとりに合った個別支援計画を作るのが仕事です。」



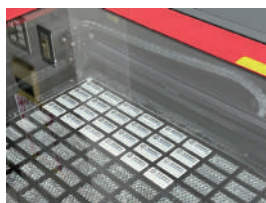
あっ!こんなところで!

エルム福祉会の **地域** との関わり

名票の制作 ＜エルムの園＞

エルムの園では、レーザー加工機を使用した名票の制作を行っています。

細かい作業を得意とする利用者さんは、アクリル名札の色付け作業・名札にピンを付ける作業・出来上がった名札を袋に詰める作業などを行っています。



毎年、入学シーズンになると、地域の中学校様よりたくさんの注文をいただいております。（群馬県や小豆島など、遠方のお客様も…）

ギャラリー等を実費で貸出 ＜hikari no café 蜂巢小珈琲店＞

hikari no café 蜂巢小珈琲店では、地域にお住まいの方・芸術家の方に絵画・彫刻・写真などを展示する機会と場所を実費で提供しています。

また、展示の他にも筆文字教室・絵手紙教室・楽器教室やコンサートの開催など、幅広い分野において、教室や体育館等のスペースの貸出を行っています。



店休日には、地域の方々がグランドゴルフをしたり、地元消防団の方々の操法練習の場として、グラウンドが活用されています。2017年～2019年には、広い敷地を利用して感謝祭を開催させていただきました。

hikari no café What's New!

いつも hikari no café をご利用いただき、ありがとうございます♪

このコーナーでは、hikari no café の情報をお届けいたします！

新商品のご案内・hikari no café の取組み・出張販売の予定など、

様々な情報をピックアップしていきますので、お見逃しなく♪



おすすめ商品



本店ランチ

『薬膳キーマカレー』

たっぷりの野菜と古代黒米のライスでヘルシーに

デザート・ドリンク付き ¥1,375 (税込)

たくさんのお客様に大人気！「新聞バッグ」のヒミツ

SDGs

今ではすっかりお馴染みの hikari no café の新聞バッグ。こちらは全て、スタッフ（利用者）さんの手作りとなっております。

ひとつの事をゆっくり丁寧にできるスタッフさん達が得意なお仕事です。

お客様からは、「可愛い♪」「作り方を教えてほしい！」「友達に自慢します（笑）」など、ご好評の声をいただいております♪

環境への配慮を考えた物で、下野新聞や読売新聞でも掲載されました。



ふるさと納税をぜひご利用ください

ふるさと納税は、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度です。手続きをすると、寄付金のうち 2,000 円を超える部分については所得税の還付、住民税の控除が受けられます。ご自身で寄付金の使い道を指定でき、地域の名産品などのお礼の品もいただける魅力的な仕組みです。

hikari no café のギフト商品も、大田原市の返礼品に登録されています。



ふるさと納税限定
クッキー＆ドリッパックギフト

フォローして、新商品やイベントなどの最新情報を check ♪



instagram



Facebook

最新情報

障がい者グループホーム「第 10 待降寮」

待降寮

令和 4 年 4 月 1 日、障がい者グループホーム『第 10 待降寮』が開所いたしました。

『第 10 待降寮』は、障がい者グループホーム（住まいの場）〈男性 7 名定員〉と障がい者短期入所〈男性（男児）2 名定員〉の 2 つの機能を持つ施設です。

利用者（入居者）様は、基本的な生活習慣を身に付けると共に、食事・清掃等の家事を分担し、出来ない事を皆で助け合いながら共同生活を送ります。

また、ノーマライゼーションの考えにたち、地域の行事等にも積極的に参加し、「地域の中で自分らしく暮らす」支援を行っていきます。

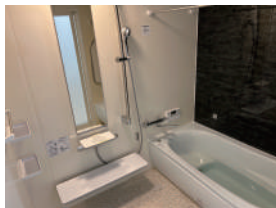
【第 10 待降寮の一部をご紹介します】



居室



和室（共用スペース）



浴室 × 2 か所

福祉豆知識



「短期入所」ってなに？

“もしもの時だけでなく、ご家族等の休息の為に利用できるサービス”

短期入所は「ショートステイ」とも呼ばれ、短期的に施設を利用し、介護・支援を受けることができる障害福祉サービスです。

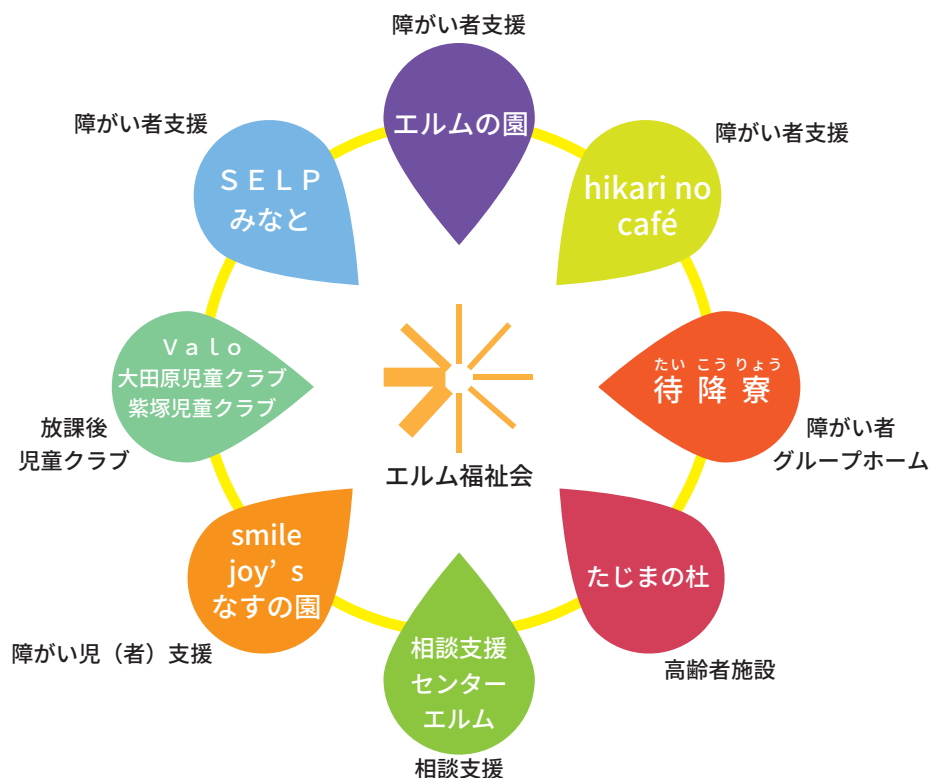
ご家族の方が障がいを持つお子様の支援が難しくなった場合や、その他の理由によって一時的に施設を利用し、支援を受けることができます。

また、このサービスはご家族にとってのレスパイトサービス（休息）としての役割も担っています。

どのような人が利用できる？

- ①障がい支援区分が区分1以上である障がい者
- ②障がい支援区分が区分1以上である障がい児





《 基本理念 》

『キリスト教精神に則り、隣人愛をもって社会に参加する』

《 VISION 》

『地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる』

● ● ● ● 事業所一覧 ● ● ● ●

障がい者相談支援事業

障がい者相談支援センターエルム 〒324-0062 栃木県大田原市中田原 381 TEL/FAX 0287-20-3117

障がい者福祉サービス

エルムの園 〒324-0062 栃木県大田原市中田原 381 TEL/FAX 0287-20-3117

SELP みなと 〒324-0041 栃木県大田原市本町 1-2701-229 TEL/FAX 0287-23-6106

※hikari no café 本 店 〒324-0062 栃木県大田原市本町 1-2701-23 TEL/FAX 0287-23-2227

※hikari no café 蜂 巣 小 珈 琲 店 〒324-0062 栃木県大田原市蜂巣 295 TEL/FAX 0287-54-2255

※hikari no café 大田原市庁舎店 〒324-0062 栃木県大田原市本町 1-4-1 大田原市庁舎 1F TEL 080-7418-9166

障がい者グループホーム

待 降 寮 第 1 待降寮～第 10 待降寮 障がい者グループホーム 大田原市, 那須塩原市

障がい児（者）福祉サービス

s m i l e 〒324-0062 栃木県大田原市中田原 586-7 TEL/FAX 0287-23-9311

j o y ' s 〒324-0062 栃木県大田原市中田原 631-3 TEL/FAX 0287-23-6620

な す の 園 〒329-3144 栃木県那須塩原市沼野田和 493-1 TEL/FAX 0287-74-2300

放 課 後 児 童 ク ラ ブ

放課後児童クラブ V a l o 〒324-0058 栃木県大田原市紫塚 1-3-10 紫塚メゾン 1F TEL/FAX 0287-48-7520

大田原児童クラブ 〒324-0052 栃木県大田原市城山 1-6-7 TEL 0287-23-7044

紫 塚 児 童 ク ラ ブ 〒324-0058 栃木県大田原市紫塚 1-7-1 TEL/FAX 0287-23-9572

介護保険サービス（地域密着型）

た じ ま の 杜 〒329-2733 栃木県那須塩原市二区町 500-5 TEL/FAX 0287-48-7553

一緒に働きませんか？



価値観が明確です

法人としての指針が明確になっており、全員が同じ方向を向いて働いています

女性が活躍できる職場

女性の「主任」以上の割合 60%

育児休暇 100%取れる

皆さん1年～1.5年取っています
パート職員も男性職員も取得できます

研修やっています

価値観研修・ハラスメント研修
新人職員研修 他

残業ゼロを目指しています

ワークライフバランスを
充実させる為に

資格取得補助制度あり

働きながら資格を取る方が多いです

<正職員 募集>

- ・支援員
- ・介護職員

初任給 : 193,632 円～ 244,795 円
※大卒・資格・経験等により異なります。

各種手当: 資格手当 他
勤務地 : 大田原・西那須野
資 格: 不問

<宿直・夜勤 募集>

障がい者グループホームでの夜勤

給 与: 宿直 1 回 4,000 円
夜勤 1 回 11,515 円～
勤務地 : 大田原・西那須野
資 格: 不問

<パートタイム職員 募集>

- ・支援員
- ・世話人 (グループホーム)
- ・送迎職員
- ・介護職員

時 給: 940 円～ 1,200 円
勤務地 : 大田原・西那須野
資 格: 不問

ご応募の前に施設見学も承っております。お気軽にご相談ください。
求人に関してのお問い合わせ・・・Tel 0287-22-8011 エルム福祉会 採用担当 高秀
求人へのご応募の際は、最寄りのハローワークをご利用ください。

ハローワークインターネットサービス
「エルム福祉会」と検索



やってみよう！ まちがいさがし



左右の絵を比べて、間違いがいくつあるか当ててみましょう！

下記の①～③を記入し、応募フォーム QR よりご応募ください。(はがきまたはメールに必要事項を記入してお送りしてもご応募可能です。)

抽選で 10 名様に、hikari no café 蜂巣小珈琲店 (限定) で使える、ランチ無料券をプレゼント♪

①間違いの数は何個でしょうか？

A. 4 個 B. 7 個 C. 10 個

②住所・氏名・TEL

③今回の記事を読んだのご感想・ご意見

応募フォーム QR



【はがきまたはメールの場合】

〒324-0244 栃木県大田原市蜂巣 295
hikari no cafe 蜂巣小珈琲店
Mail: info@hikarinocafe.com

応募×切 2022 年 6 月末日 (はがきの当日消印有効)

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※個人情報は、プレゼントの発送と誌面づくりの参考にのみ使用いたします。

編集後記

「hikari Letter 創刊号」をお読みいただき、ありがとうございます。
この広報誌は、「地域の皆様にエルム福祉会をより知っていただきたい」という想いで、刷新させていただきました。
今後も hikari Letter では、エルム福祉会の様々な情報を掲載して参りますので、次号もぜひご覧くださいませ。



エルム福祉会
公式ホームページ
もチェック！

